

串木野航路の維持存続を願う 甕島民の立場から、甕航路の諸問題について



江口 是彦

質問 「川内港直航方式」構想についてであるが、川内港は生活航路としては、気象条件など多くの課題を抱える港だと思われる。安心・安全な航路運航を前提に、甕島民の願い、意向が最優先されるべきである。航路の変更により、甕島民に新たな負担と不便を強いることのないようにしてもらいたい。

答弁 直航方式についてはいろいろと新聞報道もなされて混乱していることは、誠に遺憾であると思っている。甕航路を串木野港からなくすということは、最初から考えていない。ただ、串木野港から出た船が、いろんな諸条件が整えば川内港にも寄ってほしいというのは、これは合併したときからの願望である。経費等を考えたときに川内港から出た場合にどうなるか、一つの検討材料として研究させている。甕島航路は生活航路として欠くことのできない重要な航路であるので、この航路問題につ

いては、甕島の市民の皆さんの御意見を聞きながら検討して参りたい。

農業振興ビジョン策定について



福元 光一

質問 国が導入する品目横断的経営安定対策は個人の小規模農家は対象外であるので、個人農家が、また他業種からの新規参入者が少しでも安定した収入が得られるよう、これから策定される農業振興ビジョンの中にバイオ燃料米の試験栽培について、市、JA、農業改良普及センター、民間企業等と協力して取り組んではどうか。

答弁 休耕田をもう一度みんなまで耕して生産された米を一カ所に集荷して、バイオマスのエネルギーをつくれば所得向上につながるのではないかと御提言は理にかなった構想である。このことについて、先進地である東北地方を十分調査し、平成十九年度策定予定の本市農業振興ビジョンに位置付けられるか検討して参りたい。

宝の島・甕島を観光と併せて健康と食について



森永 靖子

質問 甕島は美しい島、宝の島と題してもっとアピールするため甕島を訪れる観光客に地場産の食材を利用して郷土食を提供する必要があるので、安全でおいしく体にもよい郷土食を、甕島ならではの新鮮な魚料理を、定番とする料理を、栄養士会、漁協組合、行政関係でお互いに知恵を出し合って掘り起こしたり、生み出すべきである。

答弁 甕島の食と観光については、本市の発展のための重要な施策の一つであり、おもてなしの心を持ちながら、地域で獲れた食材を使って、ここでなければ食べられないような料理を出すことが肝心だと思う。そのためには、食生活改善グループ、管理栄養士、宿泊施設の経営者等が一緒になって協議をし、料理の献立等を作っていたら、また、料理のコンクールを開催するなど、観光協会等と連携をとっていく必要がある。

マタニティマーク普及について



中島 由美子

質問 マタニティマークは、妊娠初期の妊婦さんに対し、周囲で気遣いしようというマークである。そこで、車の後ろに付けるステッカー型のマークを普及すれば、妊婦さんということで周りのドライバーが気を付けると思う。また、障害者用の駐車スペースにもそのマークを付けた車が駐車できるように広報すべきと思うがどうか。

答弁 赤ちゃんを産もうとしておられる女性の方に、いろいろ協力すべきではないかという御意見であり、全く同感である。例えばマタニティマークのシールを、買い



マタニティマーク